

令和3年度使用中学校用教科用図書（「教科名 音楽」）の採択結果等について

広島大学附属三原中学校

種目	発行者	採択理由
音楽 (器楽を含む)	教育芸術社	<p>○基礎・基本の定着に関わって 歌唱や器楽の指導について、生徒が分かりやすいような比喩・イメージを含んだ構成となっている。また、諸楽曲・諸テーマを学校で取り上げやすくするために、専門的な目標が具体的に設定されている。教材の核となるメインテーマ・発問については省略されている。教員が自ら教材研究をして考えることになるため、レベルアップにつながる。</p> <p>○主体的に学習に取り組む工夫に関わって 著作権、社会と音楽の関わり、アウトリーチなど、現代のタイムリーな音楽文化が扱われており、構造の仕組みや意義などが詳細に記されている。著作権（2・3下）については、問題提起と解決を図るようなページが見受けられるため、生徒の生き方・暮らし方に接続する。</p> <p>○内容の構成や配列に関わって 「思考力・判断力・表現力等」「知識」「技能」という区分を用いて、過不足無い分量の学習内容が設定されている。発展的な音楽教材もバリエーションに富んでいるため、生徒の興味を惹きつけやすい。</p> <p>○内容の表現や表記に関わって 興味をひくような表紙のイラスト、良好な表現活動の参考となるような写真やイラストが多々見受けられる。また、ギターの運指の示し方が他社よりも分かりやすい。音楽を教えるものではなく、「音楽の学びを促すもの」として使用することが出来る教科書である。</p> <p>○言語活動に関わって 特に表現領域について、考えさせたり相談させたりするようなページが豊富に盛り込まれている（「この曲ではどのように強弱を工夫すると良いか、まとめてみましょう」等）。また、言語活動の根拠が明確に書かれている（「この曲は～であるため、・・・することができます。では・・・について考えてみましょう」等）。</p> <p>○本校の研究に関わって 多様な音楽や文化などに対する感性を重要視しているため、「躍動する感性」の素地形成に役立つ。</p>

